

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 1月 19日

事業所名 こばんはうすくら 廿日市教室

保護者等数(児童数) 28 回収数 19 割合 70%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18件	1件			とても広い。解放感がある	玩具の整理整頓。落ち着いて遊べるスペースを常に確保する事を心掛ける
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	13件			6件	どの先生方も優しく相談に即答して頂ける。	専門性の部分は研修やスタッフの意見交換でスキルアップしていく。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	14件	5件			子どもにはとても興味のある教室になっていると思う。	視覚になる箇所があるので、各部屋の施設を周知し、怪我に十分気を付けて療育する。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	15件			4件	アレルギーにも大変配慮して下さり、掃除もいきとどいて清潔感がある。	現在の活動を年齢別に、プログラムの内容が固定化にならないように支援していく。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	18件	1件			分かりやすく作成してあります。	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	18件	1件				その時の状況に対して隊を宇出来る療育を目指していく。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	18件	1件			教室での様子もわかり、コミュニケーション面での成長が著しいです。新しい事にどんどん挑戦させて頂きたい。	相談内容に対して解決に繋がられるよう保護者の方と共有していく。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	17件	2件			カレンダーを楽しみにしている。その日に行ったことをすぐ、ブログにあげてくださるので様子が分かりやすい。	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3件	8件	2件	6件		個人情報もあり、保護者の方との話し合いで決めていく。
	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19件					
保護者への説明等	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のわらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	17件	1件		1件	ガイドラインに基づいたものかどうかは分かりませんが、成長がわかる支援計画を頂いている。	常に目を配り個別カンファレンスを続けていく。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	18件	1件				
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18件	1件			お忙しいのに送迎時に時間を取ってくださいます。育児の疲れを癒してもらってます。	児童の発達段階はスタッフ全員で理解していくことを続けながら、内容を個別にステップアップしていく。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13件	2件	1件	3件	送迎の時やお電話で納得のいくお答えを貰います。	
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3件	4件	7件	5件		日頃の教室の様子を年に2回ぐらいで行う意見は考えている。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	16件	2件		1件	教室内で起こったことを細かく伝えていただいております。新しく出来るようになったこと苦手な事を伝えて頂けるのは助かります。	苦手なことは集中力に繋がらなく、放し気味になっていたもので、短期集中で挑戦の努力を取り入れていく。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17件	2件			どの先生も明るく笑顔で接してしてくれる	この仕事には笑顔は必須ですので、これからも失わないよう継続していく。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	18件	1件			色々な様子をこれからもどんどん載せて載せたい。個人情報で仕方ないですが、化を隠れていない写真が個人的に欲しい。	個人情報の関係でお断りを承諾して頂いている。
	19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	19件				守られていると思います。	
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	11件	2件		6件	緊急時に何処にいるのか?どう対応しているのか?マニュアルが頂ければと思う。	年に2回実際に実施していることをブログや文章で必ずお知らせする。
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10件	1件		8件		年に2回実際に実施していることをブログや文章で必ずお知らせする。
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	19件				子どもの顔や動作を見ていると楽しみにしているのが分かります。	児童・保護者の期待を裏切らないようこれからもより良い支援を目指します。
	23 事業所の支援に満足しているか	18件	1件			先生たちが明るい。帰って来る子供の顔も明るいので満足しています。	児童・保護者の期待を裏切らないようこれからもより良い支援を目指します。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 1月19日

事業所名 こぼんはうすさくら 廿日市教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3件		児童が安全に過ごせるスペースを確保する為使わないものは片付けておく。	
	2 職員の配置数は適切であるか	2件	1件	スタッフ全員で児童の特性を把握し、十分な支援が出来るようにする。	曜日によってはご利用の人数を制限しなければいけない状況になる。共有出来ることを増やして安全確保に心掛ける。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2件	1件		自動ドアや階段があるので、児童の歩幅・スピードには最新の注意を払う。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3件		十分な広さで利用者児童を支援できる環境である。共通の遊びや行動別に過ごせる空間を持つ。	苦手な部分を共通の遊びや行事で克服してもらおうようにする。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3件		日々疑問や問題にぶつかった時、全スタッフメモをとるようにしている。	やるべきこと・問題点をスタッフが常に把握できるように、情報交換・共有しておく。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3件			希望者だけでも保護者面談の機会を設ける。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2件	1件	ブログでなるべく教室の日々の様子が分かるように工夫している。	教室の行っている療育が分かりやすく伝わるよう、プログラムも固定化しないよう色々な成長変化を知らせるものにする。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3件			
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3件		自分で受けたい研修を探し、スキルアップに繋げる努力をしている。	研修日時を常に調べて、月ごとに提示しておく。興味のあるものを積極的に参加してもらおう。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	3件		成長したところは次のステップアップになるよう、保護者のニーズは細かく普段から聞き取る。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3件			意見共有・研修参加などで、専門的立場から療育を進めていく。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている		3件		気付いたことはすぐ書き留めて忘れないうちに共有。保護者の相談にも送迎時に対応し、アセスメントに記入する。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3件		児童の問題点・成長点を常に話し合う時間を取っているため、カンファレンスを元に計画を作成している。	これからも情報共有を大事にしていく。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	3件		季節・行事などを取り入れたり、意見を出し合い作成している。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している		3件	プログラムにより利用児童の波があるので、多くの内容を用意して固定化を避けるようにしている。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	3件		個別・集団の得意・苦手をこべつに資料として作成しておく事で、成長に合わせて計画に役立てられる。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3件		前日に次の日の申し送りを書いておく。次の日の朝礼で内容を確認し、それぞれ役割分担に入る	個人の担当は責任もって行う。疑問・問題が発生した場合は当日の申し送りに記入。話し合いに繋げる。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3件			ケース会議など話し合いの時間はつねに取っているため個人の支援・保護者の支援の幅を広げて行く。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3件		連絡ノートや特に気になる事は個別ノートを作り共有している。	
関係	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	3件		個別支援計画を説明する際、モニタリングで詳しく成長を再確認する。・アセスメントシートの制作	成長を見つけ自身に繋げていき、次のステップアップに持っていく。
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2件	1件		
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	1件	2件	コロナであっても、オンラインや電話でモニタリングをおこなっている。	モニタリングでなくても、日ごろからコミュニケーションを取り、相談しやすい関係を作っていたらいい。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	3件		重症心身障害児事業所・小児科と連携して支援を行っている。	バリアフリーになっていないので利用者には限りがあるが、重症・病院・作業療法士との連携を密にし、専門分野を広げていく。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	3件		重症心身障害児事業所・小児科と連携して支援を行っている。	バリアフリーになっていないので利用者には限りがあるが、重症・病院・作業療法士との連携を密にし、専門分野を広げていく。

併 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		3件	個人情報の関係で中々正直交流は難しい。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		3件	様子を知りたい児童は連絡させてもらい、情報共有をさせて頂いている	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2件	1件	電話上で相談する時間を取って貰っている。	コロナがなかなか落ち着かず、連携して行きたいとは思いますが、難しい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		3件	個人情報関係で活動はどうしたらいいのが考え中である。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している		3件	1・2回参加させて頂いた時、勉強になる事が多かった。	コロナがなかなか落ちついたらまた、積極的に参加していきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3件		その日の変化は申し送りに書いておく。ケース会議で共有していく。	1日変化が全くないと言う事は無いので細かい所まで見て気付きに繋げていく
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3件			
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	2件	1件	契約時に説明の中に入れていく。	スタッフが誰でも答えられるよう理解を共有している。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	3件			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3件		送迎時・電話・来所などで時間を取っている。	時間を決めて、的確にこたえられるようにしている。真剣に悩んでいる方が多いので、色々な相談にのれるように1回の時間をきめていく。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		3件	希望者だけになってしまうので、考案中。	1年に2回ぐらいの間隔で参観形式で、行いたいとは考えている。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	3件			ケース会議・カンファレンスを欠かさず、相談を受けたことは共有。相談には時間をかけず、直ぐ対応できるようにして行く。
非 常 時 等 の 対 応	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		3件		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	3件		厳重に守られている。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3件			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		3件		
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3件		保護者の方からの質問も多く、避難場所や訓練の様子・マニュアルは作成して、文章やブログで公開する。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3件		年2回 夏・冬実施している。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	3件		契約時把握している。	特に要注意して、その都度様子の共有を怠らないようにしている。
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3件		契約時把握している。成長にあわせアレルギーが改善されたり、新たに見つかったりするので、要注意。	特に要注意して、その都度様子の共有を怠らないようにしている。	
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3件		小さい事でも発表。資料としてミーティングで共有。		
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3件		自分で積極的に見つけて研修を受けれる時間は設けている。		
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3件			虐待については研修も多くあるので、スタッフ共有で頭・行動で身に付けておく。	

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公)

公表: 令和 5年 1月 19日

事業所名 こぱんはうすくら 廿日市教室 保護者等数(児童数) 15 回収数 10 割合 70 %

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10件				きれいで解放感がある。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	4件	3件		3件		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	4件	3件	1件	2件	バリアフリーの点では分からないが子どもには会談も少なく手すりも付いていて適切な作りだと思う。	必ず危険だと思う箇所はスタッフの注意を持って行く。自動ドアは主導に切り替える。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	9件			1件		
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	7件	2件	1件		予定を見るのが楽しみ。私たちでは経験出来ないことをやって下さるので、助かります。	固定化しないように、児童の特性を見て、工夫していく。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1件	3件	1件	5件		個人情報があり難しいと考えられる。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10件					契約時に説明している。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解ができているか	9件	1件			送迎時に丁寧に話をきけている。相談にものってくださってます。	1日の細かい成長も見逃さずお伝えしていく。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7件	2件	1件		いつも無理なお願ひにもかかわらず聞いて下さり、助かっています。	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		2件	5件	3件		個人情報があり難しいと考えられる。年に2回ぐらい教室での様子を見学して貰える機会を考えている。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10件				どの先生も明るく対応して頂けてます。	細かいことも逃さず、連絡は迅速な対応をしている。
	12 子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10件					細かいことも逃さず、連絡は迅速な対応をしている。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	9件			1件	ブログ・連絡ノートで様子が分かり、楽しみにしています。	利用日が少ない子の成長が分かるよう配慮します。
14 個人情報に十分注意しているか	10件					教室外、放すのも厳禁を厳守。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	1件	5件		4件		年2回行っているのですが、ブログで様子を伝えたり・文面でそれぞれのマニュアルは適格に伝えていく。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか		4件		6件		年2回行っているのですが、ブログで様子を伝えたり・文面でそれぞれのマニュアルは適格に伝えていく。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	10件				帰ってきた時の表情を見れば分かります。	引き続き工夫していく。
	18 事業所の支援に満足しているか	9件	1件			これからも宜しく願い致します。	引き続き工夫していく。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 1月19日

事業所名 こぼんはうすさくら 廿日市教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切である	3件		十分な広さを確保している。	
	2	職員の配置数は適切である	1件	2件	規定に合わせた配置はできている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		3件		エレベーターがなく2階であることから、バリアフリーにはなっていない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3件		朝礼やミーティングで情報共有。	話し合っただけで終わらせない。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3件		年1回アンケート調査を実施	意見を共有し今後の課題・改善につなげる。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3件			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3件		本部にメール・電話で相談させて貰っている。	協力して戴いた事をスタッフ間で共有。細かい所までの理解のため、研修に積極的に参加する。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3件		研修の情報を共有。参加してもらう。	必要な研修をピックアップして知らせる。積極的に参加できる時間は設けていく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3件		保護者の協力を密にしスタッフ間で協議・作成している。	保護者との連携を強化し、質の高い支援を出来るように計画する。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3件		支援計画と一緒に渡している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3件		固定化しないよう、色々な引き出しを用意する。	児童の特性に合わせたプログラムを行えるように話し合いの時間は常に確保。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	2件	1件	固定化しないよう、色々な引き出しを用意する。	来所する児童を考えたプログラムを提供している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3件		利用日の多い児童のプログラムが重ならないように配慮	連続して来所する長期休暇には、普段とは違うプログラムを行う。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3件		児童発達と合同、共通の行動児童の合同を、取り入れる。	児童館の関係に配慮しつつ、作成していく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3件		朝礼やミーティングで情報共有。	朝礼で前の日の申し送りを共有考える。1日の担当決めをして1人1人の支援を確実なものにしていく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3件		その日の記録を元にケース会議・ミーティングを行っている	30分ぐらい申し送りして、次の課題を決める。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3件		問題事項を記録するだけでなく、経過記録も把握できるようにしている	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3件		ケース会議は常に行っている。	成長に合わせてモニタリング・アセスメントは見直していく。細かい変化を見つける。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	1件	2件		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3件		誰でも参加できるようにする。	管理者だけでなく全スタッフが参加し意見交換の場を設ける。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3件			学校のお迎えの時1日の様子を聞き、教室で共有する。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3件		他事業所・病院との連絡密	保護者や病院との連携を密にしスタッフで対応をしっかり身につける。

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3件		記録共有。	就学前には必ず連携をとり児童の特性を理解した上で、療育出来るようにしていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		3件	情報共有	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3件			現在不十分なので、共有関係を考えていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		3件		個人情報の関係で難しいと考える。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		3件		連絡は載っているの、真剣に積極的に行動をおこす。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3件		児童の利用時の様子を送迎時などに伝えるようにしている。	保護者からの相談は送迎で十分伝えられないので時間を設けられるように持って行く。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3件			
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	1件	2件	契約時に十分な見学を行ったうえで説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3件		専門機関とも連携し、適切な助言を行えるようにしている。	保護者からの相談は送迎で十分伝えられないので時間を設けられるように持って行く。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		3件		年2回ぐらいは教室での様子を見てもらう機会をつくる。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3件		情報共有	1つでも改善・成長に繋がれるように協力する。保護者の相談を解決するに近づける。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3件		ブログ・新聞で発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	3件		名前記載・情報はすべてシュレッター	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3件		絵カード筆談・視覚情報を使用	相談を密にする。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		3件		地域交流に積極的に参加する事を計画している。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3件		マニュアル早急に作成。ブログに公開。	ブログ・文章で伝える。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3件		マニュアル早急に作成。ブログに公開。	ブログ・文章で伝える。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3件		年1回は研修参加で情報を共有。	本部・外部研修に参加し把握しておく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3件			虐待チェックリストを教室内に張り出し1日の始まり・終わりの確認を定着する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3件		全員のチェックリストをキッチンに張り出している。	保護者に医師の診断書をつけてもらい、スタッフで共有。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3件		ファイルを目の届く所に置いてある	小さなことでも事例にあげ、細かくチェックするため、ミーティングで話し合う。	